



より速く、より使いやすく！「ラ・ラ・ネット」(生涯学習情報提供システム)が10月から新しくなります。

## 家庭教育支援の課題を探る・・・家庭教育セミナー -

### 51号の内容

「家庭教育支援のための事業・学習プログラム開発セミナー」

「青少年の奉仕活動・体験活動推進研修会」

市町村の取組

「青少年の居場所づくり」  
(上越市)

第1回「家庭教育支援のための事業・学習プログラム開発セミナー」が6月15日(水)に、長岡市立劇場小ホールを会場に行われました。この研修は、市町村職員の家庭教育支援に関する企画力・運営力の向上を図ることを目的としています。

午前は、埼玉県新座市の事例発表がありました。新座市では平成17年1月より、福祉健康部に「子ども家庭応援室」を新設し、市民と連携して子育てのネットワーク事業を積極的に進めています。増子義久室長補佐さんから家庭教育支援のこれからのポイントとして“今時の子育て(地域が支援)”や“ボランティアと成人教育”、“母親たちの社会復帰”などの視点から具体的な取組の様子について話がありました。

また、引きこもる親への対応策としてITを活用した家庭教育支援事業を開発中であるということでした。

午後は、日本産業カウンセラー協会の福田貴美子さんにより演習「コミュニケーション能力の育成」とワークショップ「我がまちの課題解決に向けて」を行いました。



次回は、「家庭教育支援事業をプランニングする。」をテーマに、国立女性教育会館研究国際室長の中野洋恵さんを講師に迎えて、モデルプランの作成をします。

期日：8月9日(火)・10日(水)  
場所：長岡市立劇場・大会議室

## お知らせ

広域遠隔学習推進事業  
「にいがた連携公開講座」  
8月の予定

第5回：8月7日(日)

「健やかな人生をめざす  
女性(40～50代)のための  
健康づくり」

第6回：8月21日(日)

「男女共同参画社会実現  
のために必要なこと」

第7回：8月31日(水)

「古文書入門 江戸時代の  
村に生きる人々」

\*詳細は、ラ・ラ・ネットを  
ご覧ください。



## 青少年に感動体験を！・・・青少年の奉仕活動・体験活動推進研修会

第1回青少年の奉仕活動・体験活動推進研修会が7月8日(金)に当センターを会場に29名が参加して行われました。

午前の第1分科会では、中条町体験活動支援センターから「市町村の支援センターの事業について」、第2分科会では、村松町教育委員会から「中・高校生のボランティア活動について」、第3分科会では、魚沼市わくわくネイチャー体験クラブから、「青少年の野外活動について」で事例発表を基に活発な協議が行われました。



午後は、全国体験活動ボランティア活動総合推進センター・木村清一コ・ディネータから「奉仕活動・体験活動の更なる発展を目指して」をテーマに全国的な動向を踏まえての講義がありました。

参加者は、分科会や講義を通して豊かな奉仕活動・体験活動が青少年の豊かな心をはぐくむために果たす役割の大きさを再認識しました。また、講義の中で全国調査で多くの青少年が「感動する体験をしたい」の割合が高いとの説明は、青少年の奉仕活動・体験活動の担当者に大きな勇気と自信を与えました。

次回は、「県内のボランティア活動の現実から学び、今後のあり方を考える。」をテーマに実施します。

期日：9月21日(水)

会場：県立生涯学習推進センター

## 青少年の居場所づくり(土曜学校開放の取組)

上越市立古城小学校学校開放委員会

古城小学校区では、学校五日制の完全実施に伴い、平成14年度から土曜日の子どもたちの様々な体験活動とその活動場所の確保をねらいとして「土曜学校開放」に積極的に取り組んでいます。

この取組は、「港町こども育成会」が取り組んでいた同趣旨の取組を地域住民みんなの取組にしていこうという呼びかけに、古城小学校区の港町、高崎新田の各町内会、老人会、婦人会、青年会の皆さんが賛同して下さって、「学校開放委員会」という組織をつくり活動を始めたものです。現在は、港町の竹田町内会長が委員長となって活動を進めています。

活動をスタートしたときの基本理念は、「子どもたちに活動と活動の場を提供すること」であり、活動を計画することが、子どもたちの主体性を奪ってしまうことがないようにしようというものでした。ですから、無理に子どもを集めようとしなない、もし子どもが集まらなくともそれはそれでいいのではないかと考える、ということで、企画側の責任を問わない方針でスタートしたのです。それが、長く続けることができている大きな理由になっていると思います。

しかしながら、企画側としては、なるべく多くの子どもたちに参加して欲しいものです。そこで、学校にポスターを掲示したり、つくるものの実物を学校に飾ったりなどの工夫をしてくれています。



「小刀は、こうやって使うとあぶくないんだな。」

「よーし！うまくなってきたぞ！」



今までの企画の中では、やはりものづくりが一番人気がありました。お菓子づくり、昔の遊具づくりなどの他に、塩づくり、炭づくりなどのユニークな活動を企画したこともあります。

また、将棋、オセロのような校区民で指導できる趣味的な活動の他に、平和学習会、小川未明の読み聞かせの会など他団体の援助を受けたり、親子で参加できる活動を計画したりしてきました。本年度は、アルビレックス応援ツアーなど独自の企画も行っています。

要するに、子どもにとって「土曜日には、学校に行く気になればいつでも活動は用意されている」という大変恵まれた環境が整っているのです。企画・運営する苦労も多いのですが、時間はあっても仲間と遊びを創造する力が弱い今の子どもたちにとって、貴重なひとときを提供している活動であると自負しています。

これからも、活動に参加した子どもたちの笑顔が一番の宝として、無理をせず、息の長い活動として継続していくことができればよいと考えているところです。

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」
<a href="http://www.lalanet.gr.jp/">http://www.lalanet.gr.jp/</a>
家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」
TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019
生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)
TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp

